

第1 計画策定の趣旨

花きは、美しさや鮮やかさだけでなく、香りや癒しなど、生活に潤いと安らぎを与え、県民の心豊かな生活の実現に大きな役割を果たしていることから、今後の花き振興については、国、市町、関係団体等と一層緊密に連携を図りながら、花き産地の育成や、地産・地消を核とした新たな需要の創出に向け積極的に取り組むものとする。

なお、本計画は、「花きの振興に関する法律」に基づき、国が策定した「花き産業及び花き文化の振興に関する基本方針」に即して、平成25年度を基準年度、平成37年度を目標年度とする。

第2 本県花きの現状

1 生産

生産者の高齢化による担い手の減少、輸入花きの増加による販売単価の低迷、燃油等資材高騰により、花き生産は厳しい状況にある。

そのため本県では、花き振興を図るためのリーディング品目として、県オリジナルのユリ（プチシリーズ）、リンドウ（西京シリーズ）を開発し、山口県花卉園芸農業協同組合等と連携して産地化を推進するとともに、品質に優れ全国に誇れる商品としてやまぐちブランドの登録をすすめ、県内外での有利販売の実現を目指している。

2 流通・消費

直売所の増加やインターネット販売等、流通形態の多様化により、県内花き市場の取扱高は近年漸減傾向にある。また、花き市場においても相対取引の割合が増加する等、生産者にとって継続出荷や産地情報の提供の必要性が高くなっている。

一方、花きの消費量は、本県においても全国と同様に減少傾向にあり、県庁所在地（山口市）1世帯当たりの年間切り花購入額は、全国平均に比べ低い水準にあり、日常生活での花きの普及が進んでいない状況にある。

この様な状況を踏まえ、本県では平成25年4月に下関花卉園芸農業協同組合が県域全体をカバーする山口県花卉園芸農業協同組合に発展改組したのを契機に、生産・流通・消費の各界の関係者が連携し、本県花き振興を推進する山口県花卉園芸推進協議会が設立され、花きの産地づくりと県産花きの商品力の強化に取り組んでいる。

第3 花き振興の基本方向

1 計画の目標

○品質に優れた「やまぐちの花き」の生産と需要の拡大

項目	実績(H25)	目標(H37)
花き産出額	29億円	35億円
世帯当たり切り花の購入額	6,160円/年	10,000円/年

○県オリジナル品目の育成と産地拡大

項目	実績(H25)	目標(H37)
ユリ(プチシリーズ)	14万本	300万本
リンドウ(西京シリーズ)	3万本	300万本

2 主要振興方策

(1) 県産花きの需要の拡大

生産・流通・消費・文化の関係者と連携し、地産・地消の取組を推進するとともに、県内外での情報発信や商品力の強化に努める等、品質に優れた県産花きの販路拡大を図る。

また、中長期的視点に立って、花育活動等の取組を推進する。

(2) 産地を牽引する担い手の確保・育成

先進的な農業経営者等と連携し、新規就業者の確保・育成を図る。また、集落営農法人等を新たな担い手として位置づけ、露地等での花きの取組を推進する。

(3) 生産体制の強化

オリジナル性豊かな新品種の開発及び産地化を推進するとともに、高品質・安定生産に向けた技術開発や環境に配慮した生産に取り組む。

第4 具体的な振興方策

1 県産花きの需要の拡大

(1) PR対策の充実強化

やまぐちフラワーランドにおける花のある生活の提案や花に関する情報発信を行うとともに、催事等での県産花きの活用や、公共施設等での生け花展示の取組の普及拡大を図る。

また、国内外でのフェアや品評会への参加等を通じて、品質に優れた県産花きの積極的な情報発信を行う。

(2) 地産・地消の取組強化

産地と県内花き市場との連携強化による県産花きの供給力の向上や、物日と連動した県産花きのキャンペーンの展開、また、産地表示の推進や家庭における日持ち向上の知識の紹介等、「やまぐちの農林水産物需要拡大協議会」と一体となり、販売協力専門店等を核として地産・地消の取組を積極的に推進する。

さらに、消費者、文化団体と連携した県産花きの理解促進や、学校教育と連携した花育活動の推進等、県産花きの需要拡大につながる様々な取組を推進する。

(3) 大都市圏等への販路拡大

国内外の品評会等への出品や県オリジナル品種等の展示を通じて、質の高い県産花きの知名度を高める。

また、販路の開拓及び拡大のため、大都市圏の市場等と連携した新たな流通システムの構築や、インターネット、全国通販カタログ等販売ルートの多様化に向けた取組を推進する。

2 産地を牽引する担い手の確保・育成

(1) 新規就業者(自営就農者)の育成

農業大学校や、先進的な農業経営者等での技術研修を充実させるとともに、関係機関・団体とが連携した受け入れ定着体制を強化し、新規就業者の経営の早期安定化を目指す。

また、関係機関との連携強化による産地情報の共有化や、地域・県域生産者組織の研究会活動等の取組を支援することにより、花き生産意欲の高揚と技術・経営力の向上を図るとともに、将来の花き生産のリーダーとなる担い手を育成する。

(2) 法人経営体の育成

山口県集落営農法人連携協議会等と連携し、新規就業者の受け皿として大きな役割を果たす法人経営体の育成を図る。

また、集落営農法人等へ新たな高収益作目として、リンドウやコギク等露地栽培が可能で低投資で取組むことができる花きの導入を図るとともに、県内市場と連携した契約的取引の推進等、法人経営の安定化・体質強化に向けた取組を支援する。

(3) 新規就業者(法人就業者)の確保・定着

新規就業者の募集から技術研修、就業、定着まで一貫した「日本一の担い手支援策」により、県内外からの新規就業者の確保と定着を進める。

3 生産体制の強化

(1) 花きの高品質・低コスト生産体制の確立

花き振興センターにおいて生産・流通の改善に役立つ基礎的な技術開発を推進するとともに、農林事務所との連携のもと、地域の実情に即した技術の普及等を推進し、花き農業の体質強化を図る。

また、施設園芸の省エネルギー設備の導入や燃油高騰時のセーフティネットの構築等、燃油高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を支援するとともに、高品質・低コスト生産のための機械・施設等の導入を支援する。

(2) 県オリジナル品種の育成と産地化

県産花きのブランド化と有利販売を図るため、花き業界から評価の高いユリ、リンドウ等のオリジナル品種の育成、高品質化技術等の研究開発に取組むとともに、特にユリについては優良種苗を低価格で安定供給できる体制づくりを促進し、産地化を加速する。

(3) 環境に配慮した花づくり

環境や安心・安全に対する関心の高まりに対応し、エコファーマーの育成や、循環型農業栽培技術の普及を図るとともに、使用済み資材の適正処理やリサイクルの取組を推進する。